

題：新聞とインターネットで

名前：

近年科学技術が急速に発達し、パソコンが普及しインターネットによって世界がより密接につながってまいりました。そしてインターネットの世界はどんどん広がってきて、ニュースも気軽に見れるようになり、新聞や雑誌に取って代わるのかという議論がなされるようになりました。私はその意見に賛成であり、新聞や雑誌は不必要になると思っています。

インターネットのようなヴァーチャルな空間では様々な危険性が潜んでいると言われているかもしれませんが、ヴァーチャルだからこそその利点がとても多いと思います。まずは、配達の手間が省けるという点です。新聞配達というと朝の四時や五時頃から活動しているイヤージがあり、配達人にとってとても大変なことですが、インターネットにおいてはそうではありません。また、情報が速いという点も重要な長所です。インターネットでは世界が広がって、いろいろなところから、いろいろな

遠くの外国で起こっていることも瞬時にして知ることもできます。新聞では一大事件の時に号外を出すのがやっとなのであり、それではいざという時に対応できない怖れもあります。ヴァーチャルであることの最大の利点としてゴミ問題への貢献が挙げられると思います。古新聞という形で新聞や雑誌は回収されリサイクルされてはいませんが、百パーセントリサイクルできるわけではないうし、回収されるに捨てられる新聞や雑誌も大量にあるはずで、しかしインターネットによって新聞や雑誌が廃行されるようになったらその分のゴミが全くなくなるといえます。これが世界規模でなされるとしたら、ゴミ問題、これは地球環境問題に改善のきざしを差し込むことができるのです。

古い文化に固執して絶対に報が良いという人もいますが、時代は流れていくものではない。今の地球にとって、私たちに何が必要かをしっかりと考え新たな文化への挑戦していくべきだと思います。

1800字